

十人十色東京編2015

# ApSIC Xbench の活用法

東 尚子



Web: <http://goju-on.com/>

Facebook: <https://www.facebook.com/nazma.gojuon>

Twitter: Goju\_ON

# 背景など

## 略歴

- IT企業→外資系ソフトウェア会社（社内翻訳）→フリーランス

## 分野/言語

- IT（英日） 90%以上
  - 一般向け/開発者向け製品ガイド
  - マーケティング系
  - トレーニング教材
  - ニュースレター
  - ソフトウェアUI/ヘルプ
- 企業ウェブサイトなど（英日） 10%未満

## 受注案件の特徴

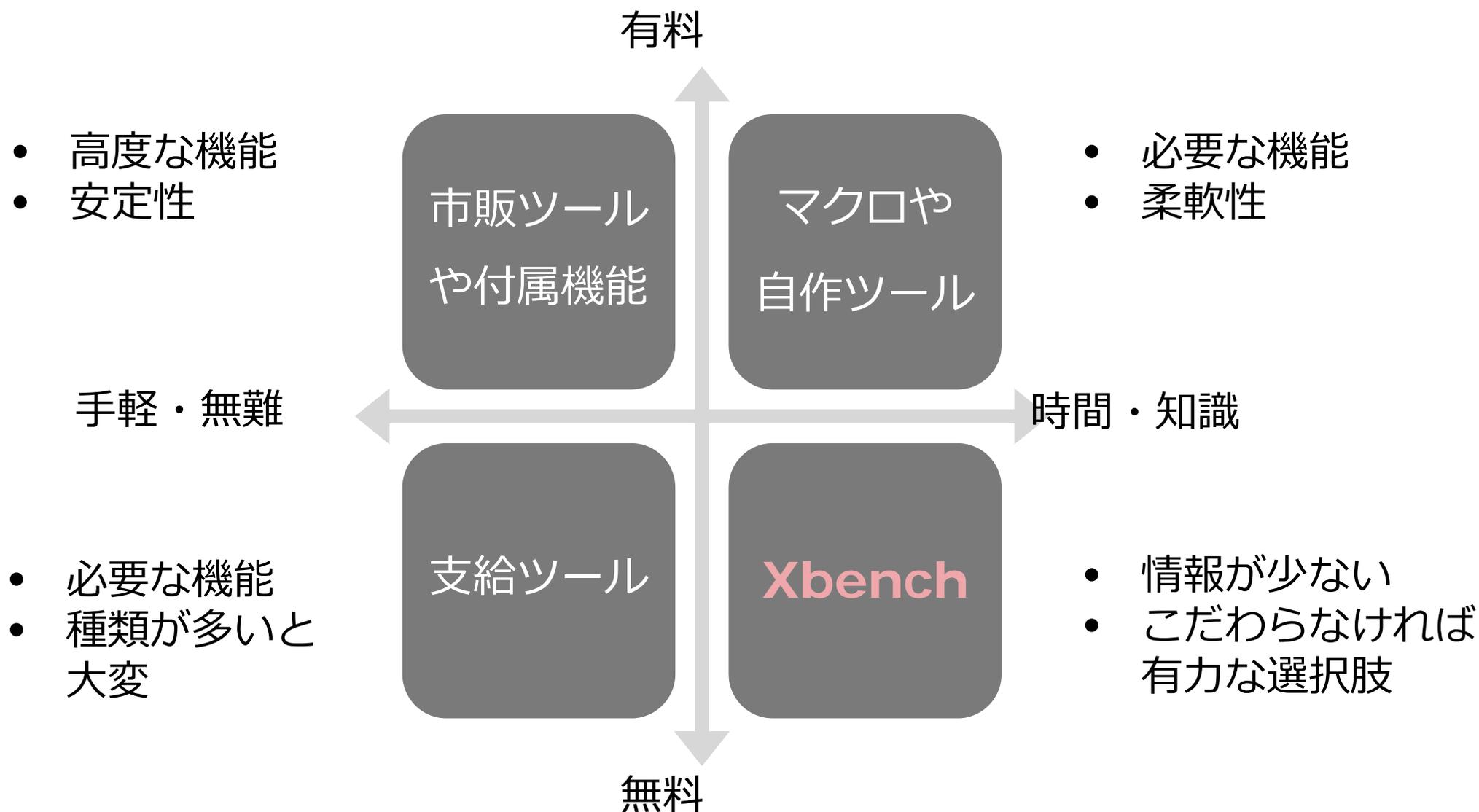
- スタイルガイド、用語集、チェックツールなどが支給/指定される
  - ※Xbenchを指定するエージェントもある

# そもそもXbenchって？

## 名前は "ApSIC Xbench"

- Easy Quality Assurance and Terminologyとうたっている
- Windowsにのみ対応
- 翻訳支援ツールとの併用を想定
- 配布URL <http://www.xbench.net/index.php/download>
- バージョン2.9までは無料 ⇒本日はこれを前提に説明
  - ApSIC Xbench 2.9 - Build 474 (Non-Unicode, Freeware)
  - 修正プログラムや更新の提供予定なし
  - Non-Unicodeのため、多言語では問題があるかも
  - 設定の [Check Weekly for New Versions] はオフにしておこう
- バージョン3.x以降は、サブスクリプションライセンスが必要 (€99/year、30日の無料試用期間)

# さまざまなQAツールの位置づけイメージ



# Xbenchの特徴

## プロジェクト

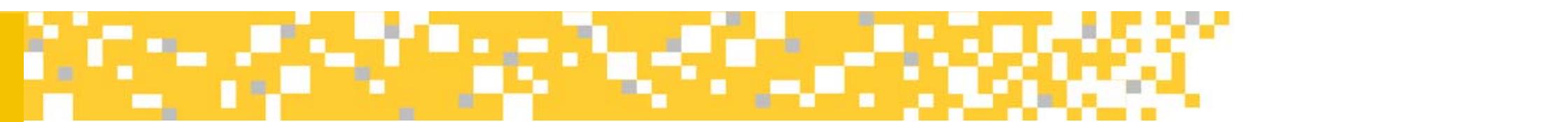
- 用語集や翻訳対象ファイルをまとめて指定、保存
- ファイルを個別に指定、またはフォルダーごと指定できる
- Priority（優先度）、Order（順序）を指定できる

## 検索機能

- さまざまな形式のファイルを一括検索できる
  - 一部の検索オプションは、バイリンガル形式が前提となっている

## 翻訳対象ファイルのQAチェック機能

- 基本的なチェック項目は用意されている
- 用語集に照らした用語チェックができる
- 同じ原文に対する訳文の揺れをチェックできる



# Xbenchで読み込めるファイル形式

Tab-delimited text files (\*.txt)

XLIFF files

TMX memories

TBX/MARTIF glossaries

Trados exported memories

Trados exported MultiTerm 5 glossaries (\*.txt)

Trados MultiTerm XML glossaries

Trados TagEditor files

Trados Word uncleaned files

Trados Studio files

SDLX ITD files \*\* SDLX is required

SDLX Memories

STAR Transit 2.6/XV directory tree

PO files (\*.po)

IBM TranslationManager exported dictionaries

IBM TranslationManager exported folders

IBM TranslationManager exported memories

OpenTM2 exported dictionaries

OpenTM2 installed and exported folders

OpenTM2 exported memories

Wordfast memories

Wordfast glossaries

Wordfast Pro TXML files

DejaVu X/Idiom files

DejaVu X/Idiom memories

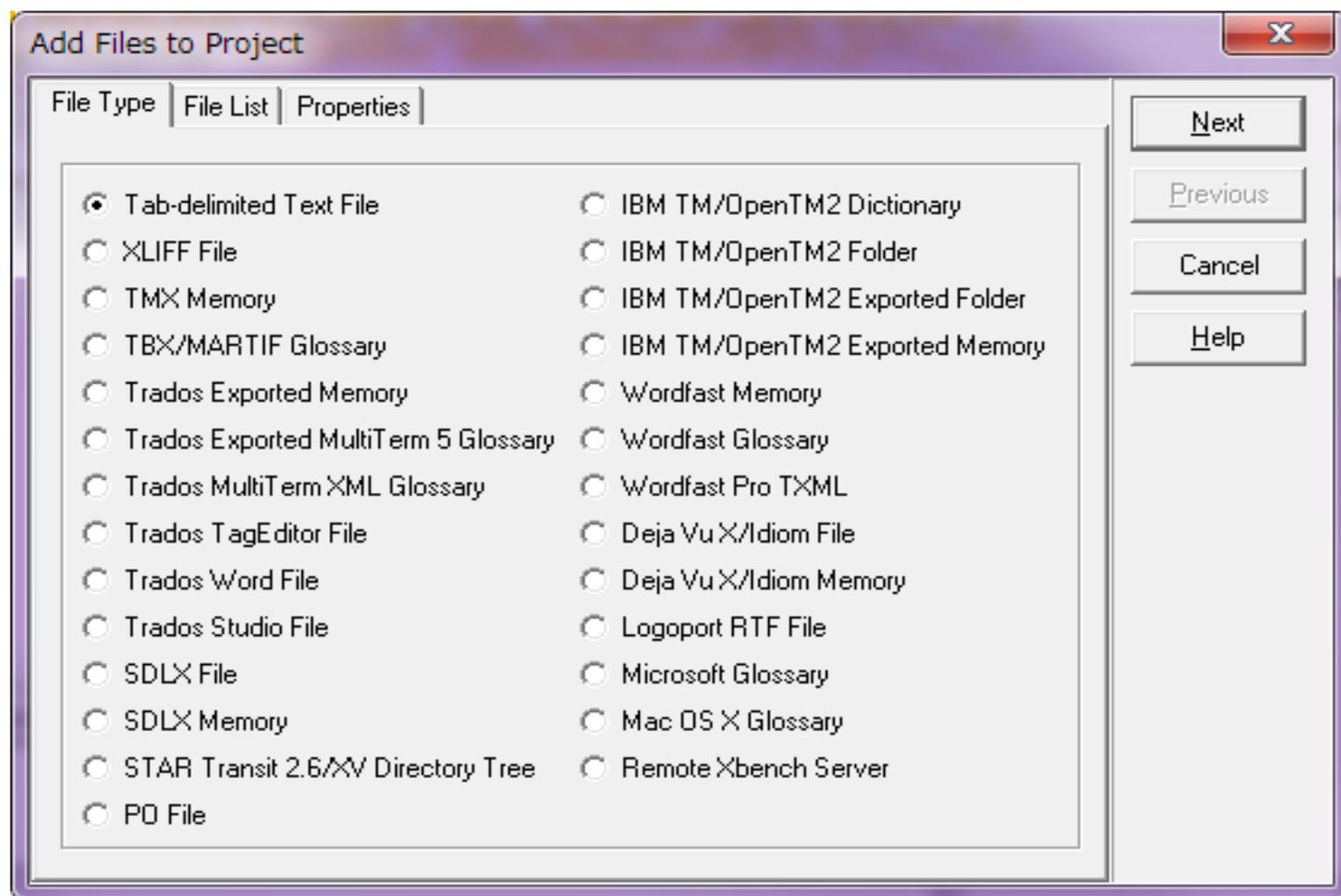
Logoport RTF files

Microsoft software glossaries

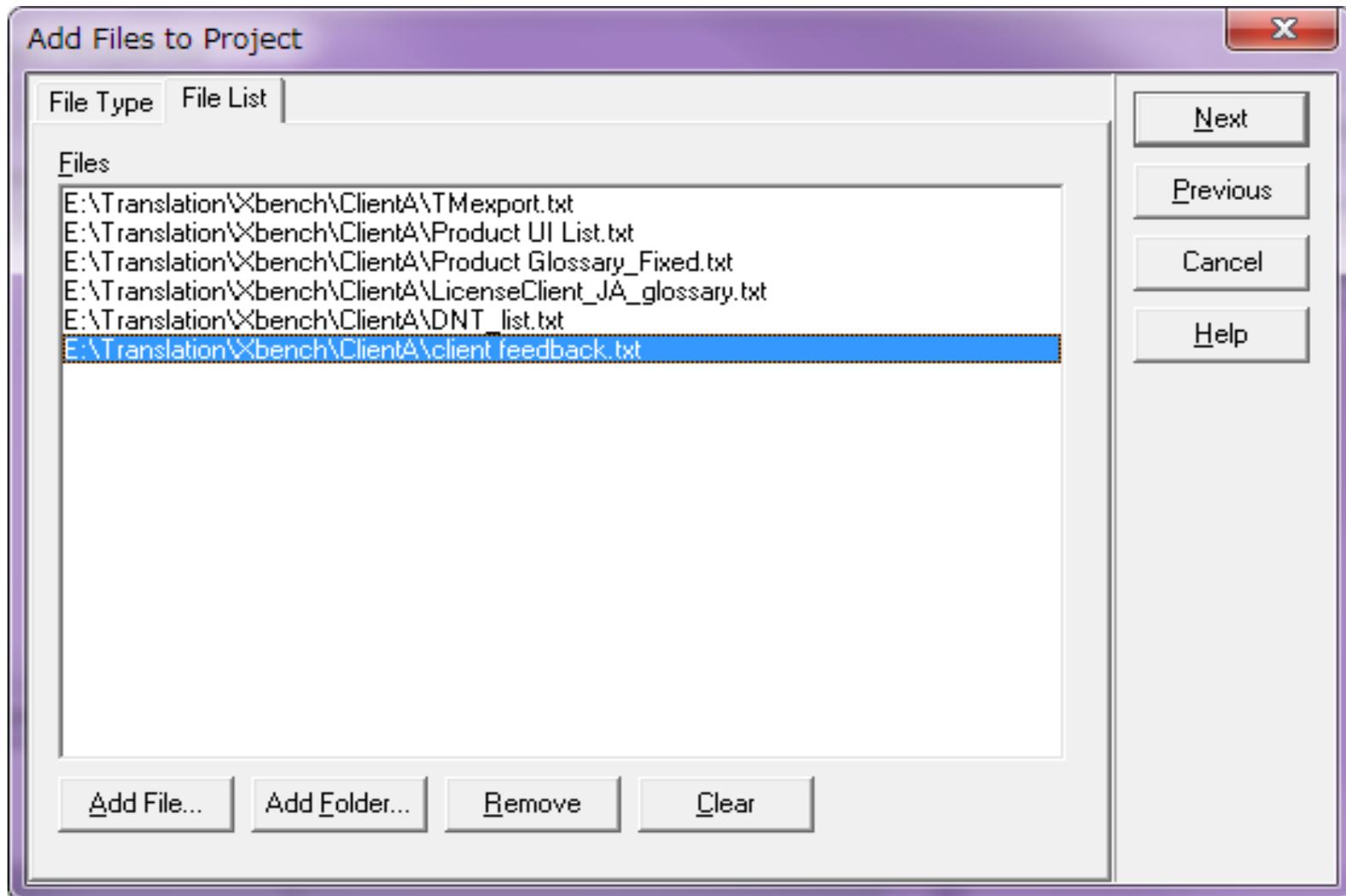
Mac OS X glossaries

Remote Xbench Server glossaries

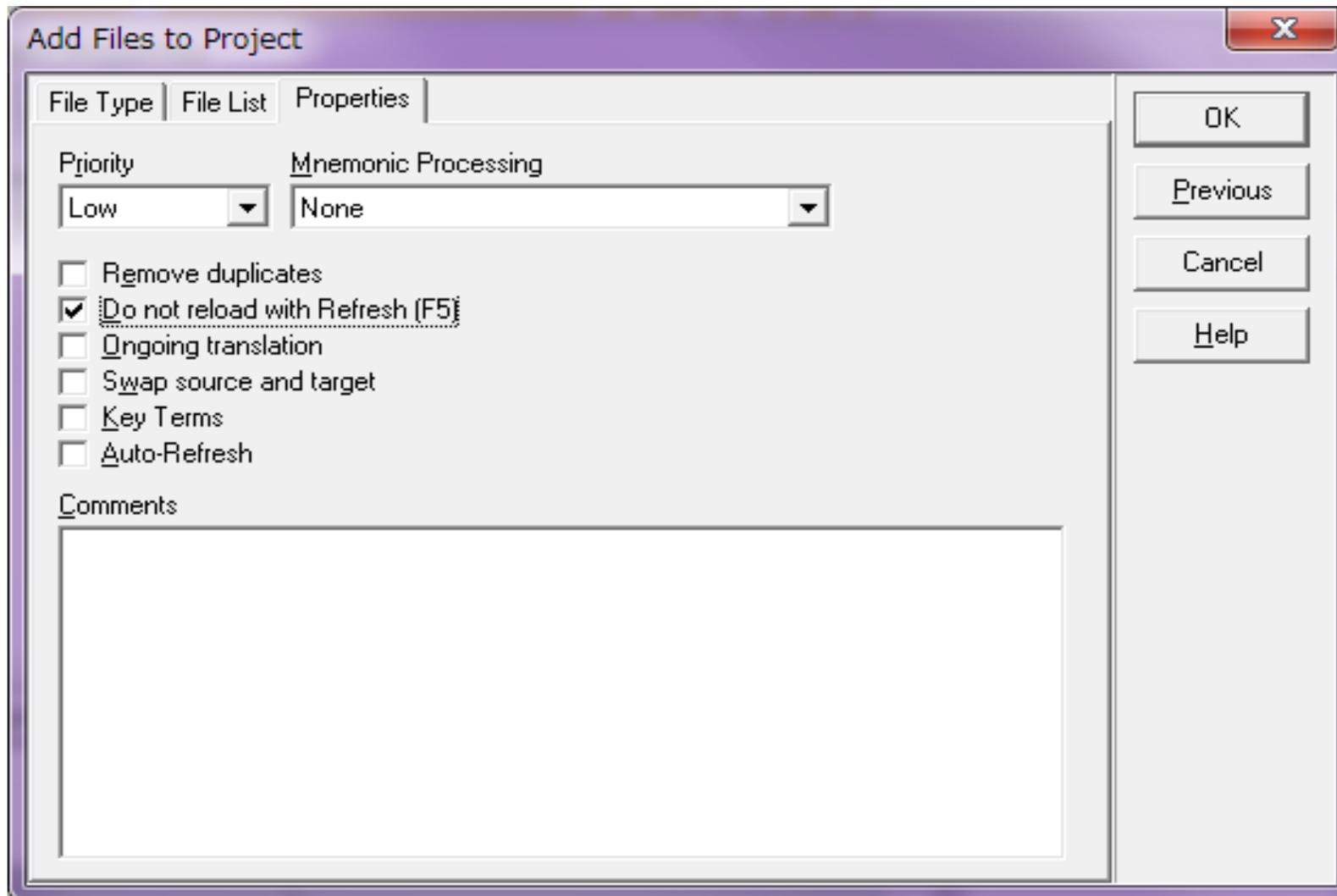
# プロジェクトの作成 (1/4)



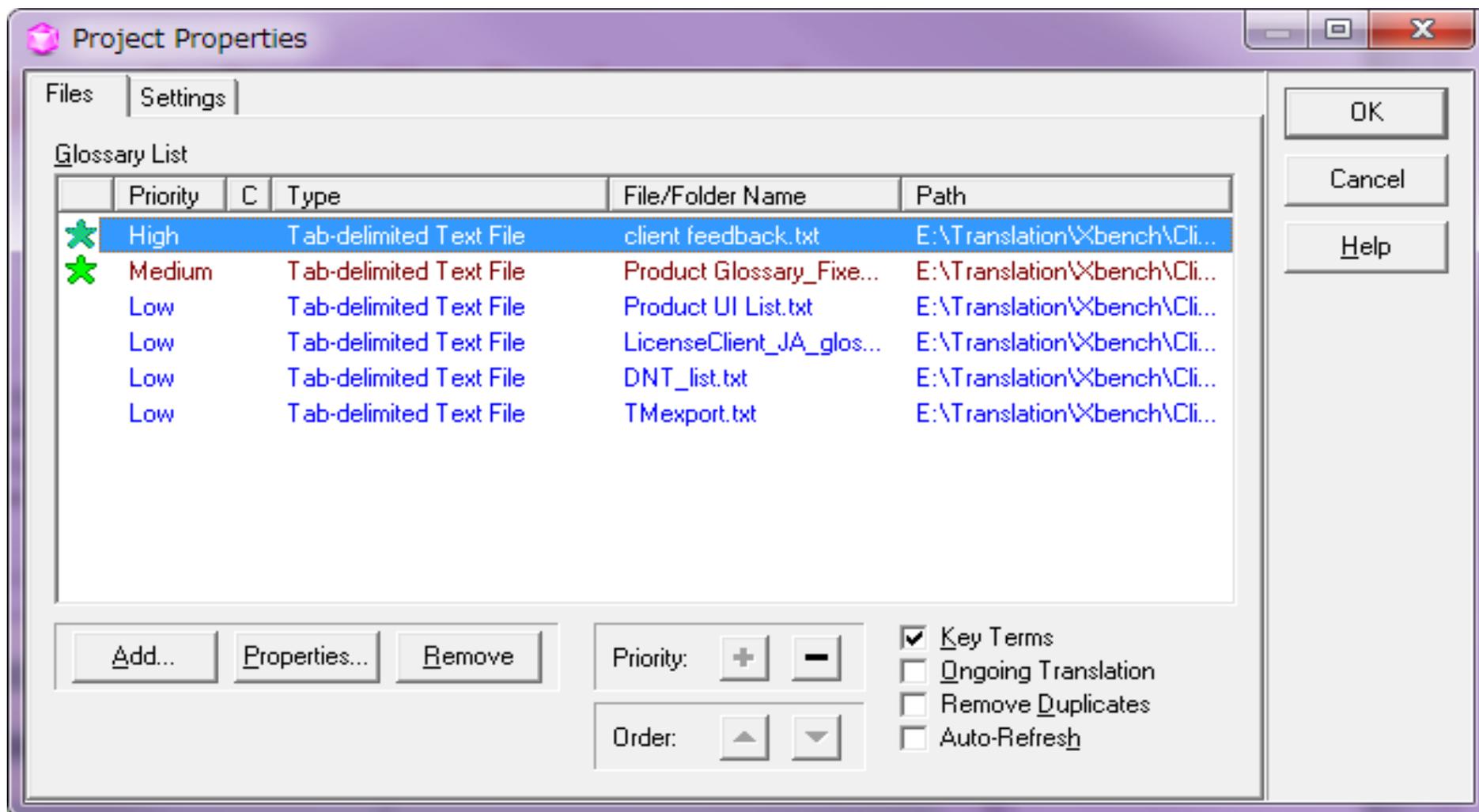
# プロジェクトの作成 (2/4)



# プロジェクトの作成 (3/4)



# プロジェクトの作成 (4/4)



# Xbenchの主な機能：検索（1/3）

## 通常検索

- ソースとターゲットの一方または両方のボックスで検索できる
- 他のアプリケーションから、選択した文字列を検索できる
  - ソース検索： Ctrl + Alt + Ins
  - ターゲット検索： Ctrl + Alt + Backspace
  - 自動置換： Ctrl + Alt + Num\*

## 検索オプション

- 大文字小文字の区別、空白の扱いなど
- セグメントのステータス（バイリンガルファイルのみ）

# Xbenchの主な機能：検索（2/3）

## 検索結果

- 検索結果はPriorityとOrderに従って表示される
- 記号と色で識別できる
  - ● full exact match, case sensitive
  - ● full exact match, except case
  - ★ key term, exact match, case sensitive
  - ★ key term, exact match, except case
  - ☆ key term is contained in the entry
- エントリーを選択してEnterキーを押すと訳語がクリップボードにコピーされる
- 右クリック> [See Context] で前後のセグメントを確認できる

# Xbenchの主な機能：検索（3/3）

## PowerSearch

- ブール検索

## 検索モード（Search Mode）

- 正規表現
- MS Wordワイルドカード

## 検索テンプレート

- 正規表現とオプション指定が事前定義されている（欧米向け？）
  - 例：Capitalized wordsを検索：<[A-Z]+>、Case Sensitive

# Xbenchの主な機能：QA（1/3）

## チェック対象ファイル（バイリンガルファイル）

チェック対象ファイルもプロジェクト内に読み込む

- [Ongoing Translation] にチェックを付けたファイルがチェック対象
- 対象ファイルを変更したら、F5キーでプロジェクトを読み込み直す

チェックする項目を選べる

- セグメントのステータスが未翻訳（訳もれ）
- セグメントの原文が同じで訳文が異なる
- セグメントの訳文が同じで原文が異なる
- セグメントの原文と訳文が同じ（訳もれの可能性）
- 原文と訳文のタグが不一致
- 原文と訳文の数字が不一致
- スペースが2個続いている
- 同じ語が繰り返されている
- Key Termsに対する訳語が訳文で使用されていない
- ユーザー定義のチェックリストによるチェック
- スペルチェック（辞書プラグインが必要）

# Xbenchの主な機能：QA（2/3）

## チェック結果

- エントリを右クリック> [Edit Source] で対象ファイルを開ける
- チェック結果をエクスポートできる
  - HTML、タブ区切りテキスト、Excel、XML
  - 使いやすいのはExcel、またはHTML

## ※残念ポイント

- 日本語では、チェック結果で赤色に色づけされる位置がおかしい

# Xbenchの主な機能：QA（3/3）

## チェックリスト

Xbenchで検索可能な条件をチェックリストとして保存できる

- Project Checklist：プロジェクトに保存される
  - 顧客からのフィードバック、禁止語句など
- Personal Checklist：単独のチェックリストとして保存される
  - 自分がミスしやすい項目、普遍的な項目
- [Project] タブの [Add last search to checklist] で条件を登録

## チェックリストの管理

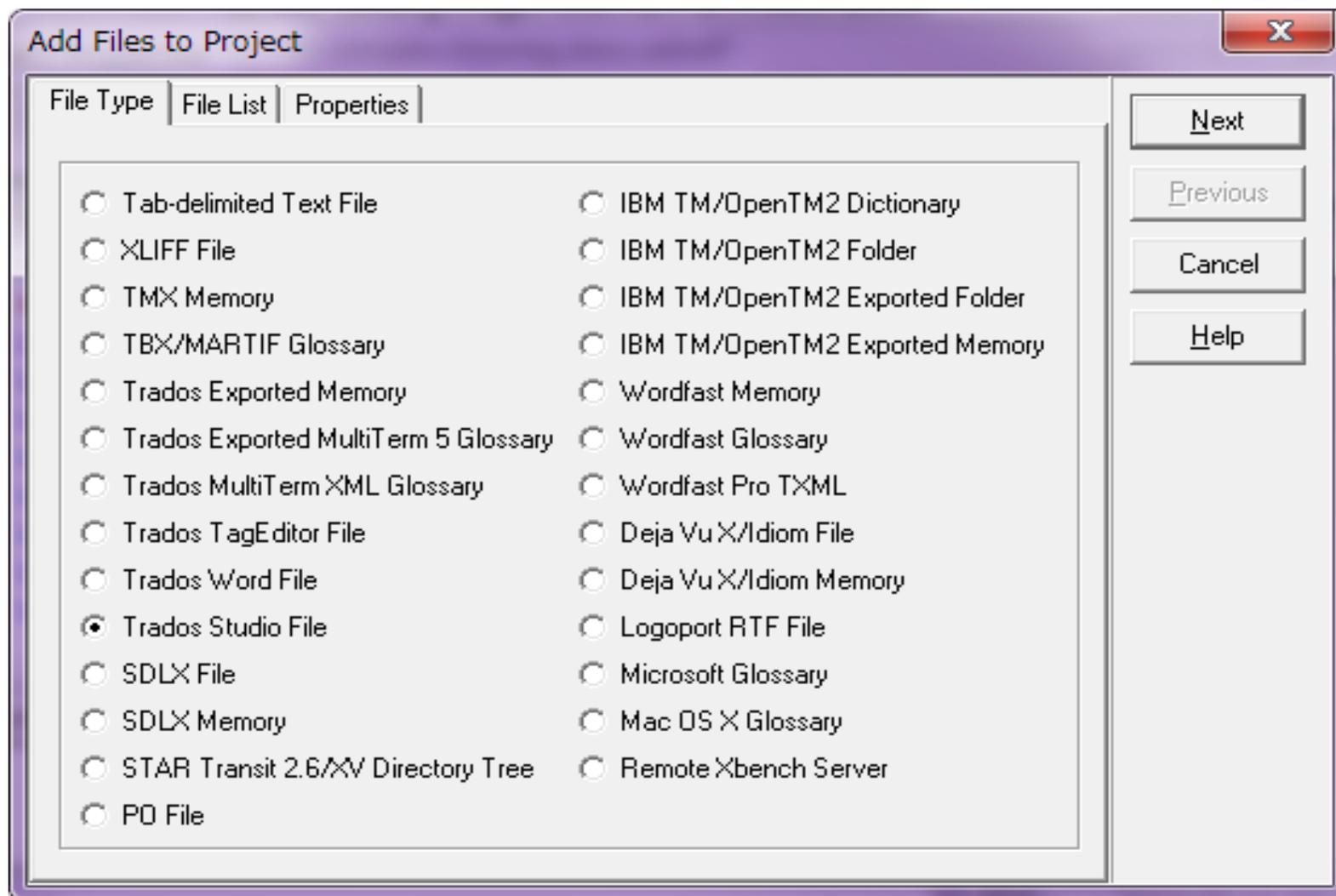
[Tools] > [Manage Checklist]

## 使用方法

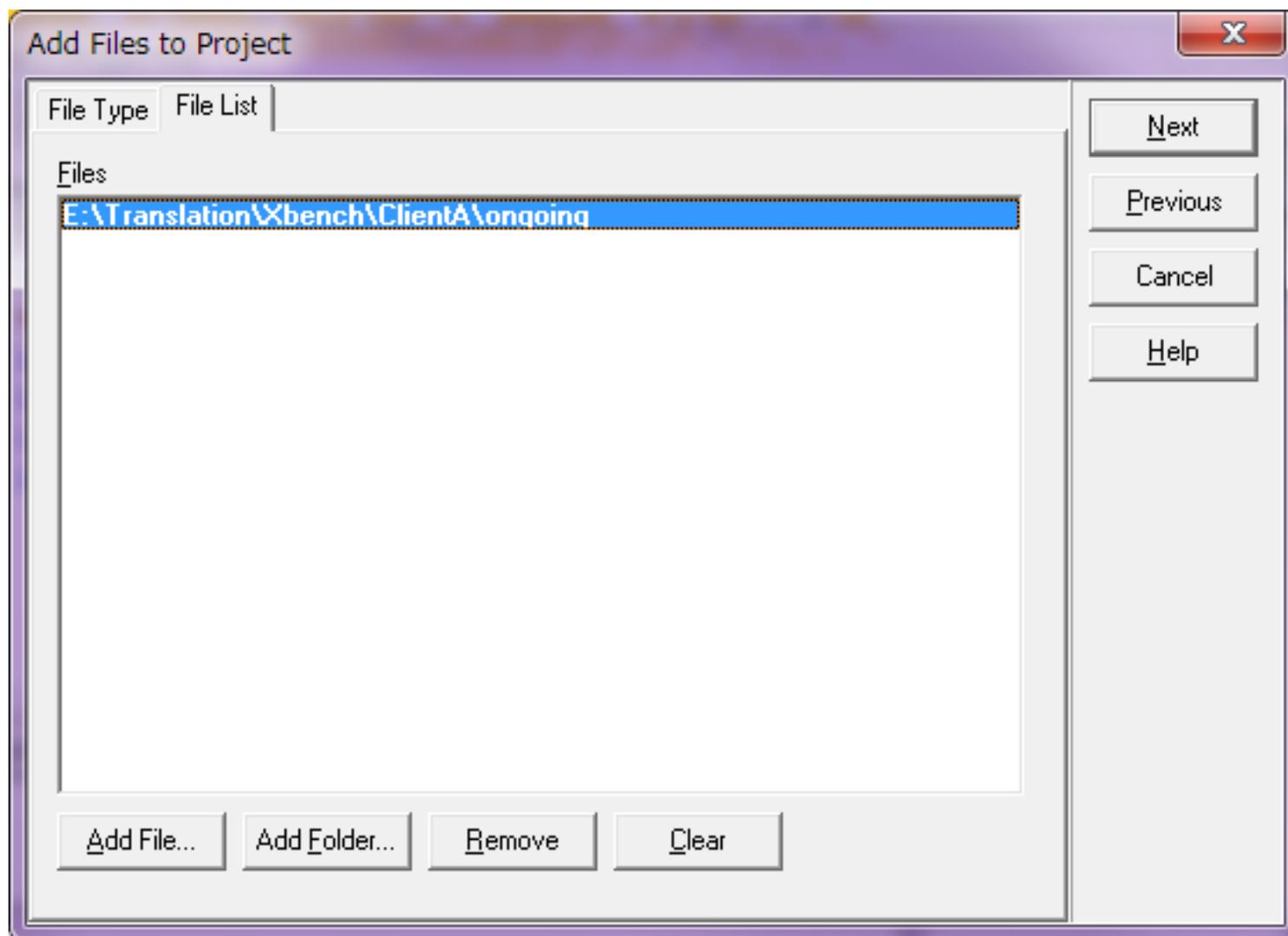
[QA] タブ> [Run Project Checklists]

[QA] タブ> [Run Personal Checklists]（作成した場合）

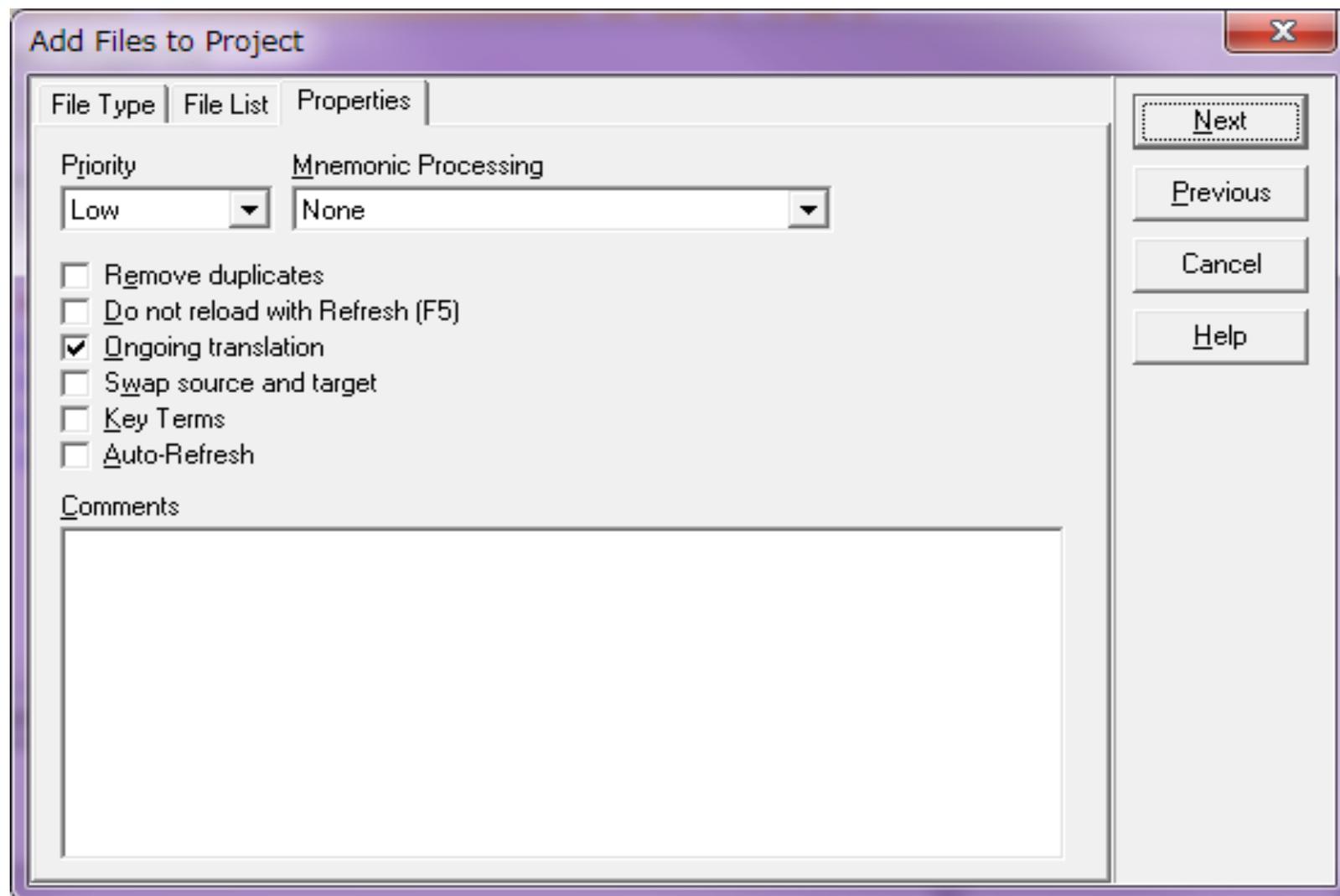
# QAチェックの実行 (1/6)



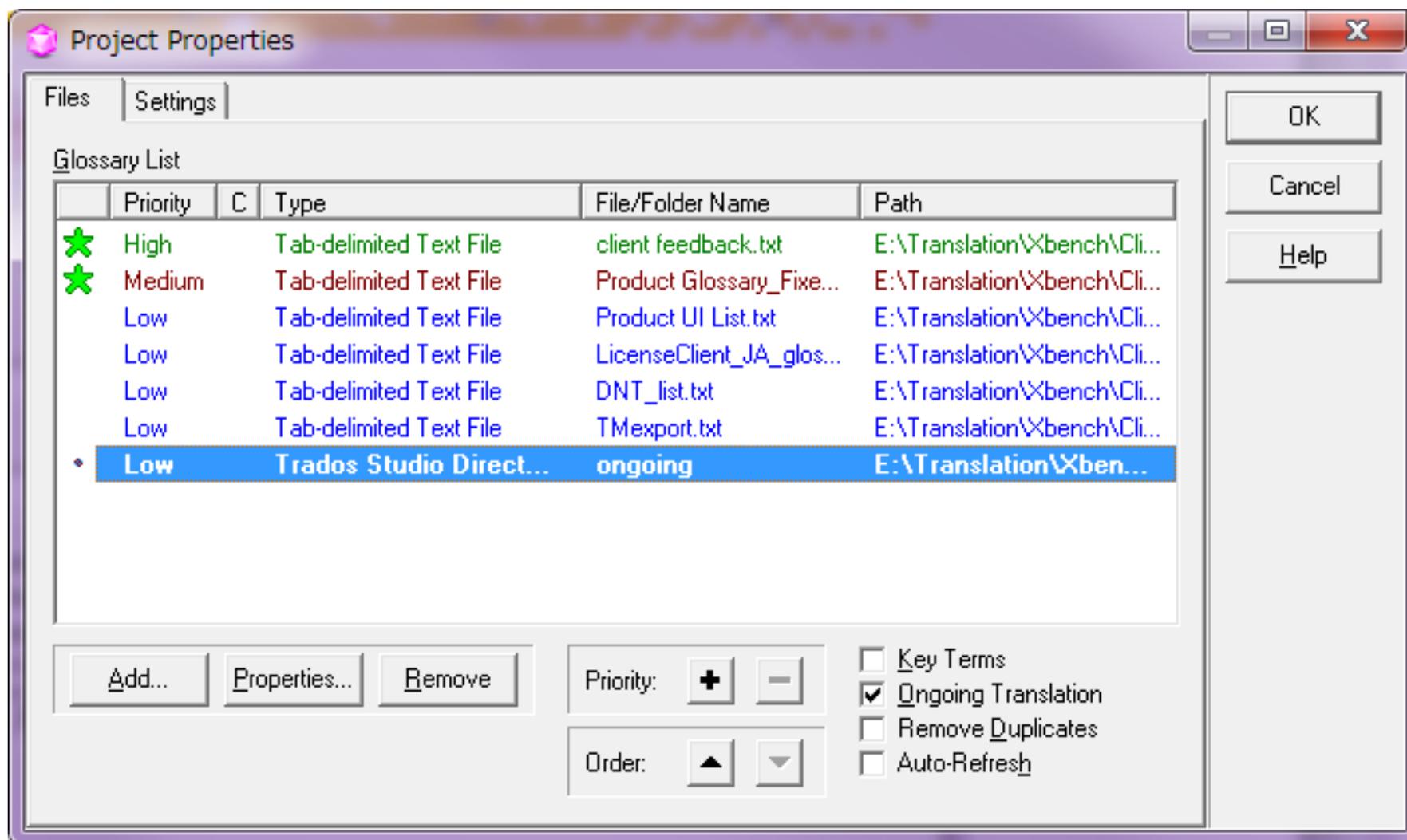
# QAチェックの実行 (2/6)



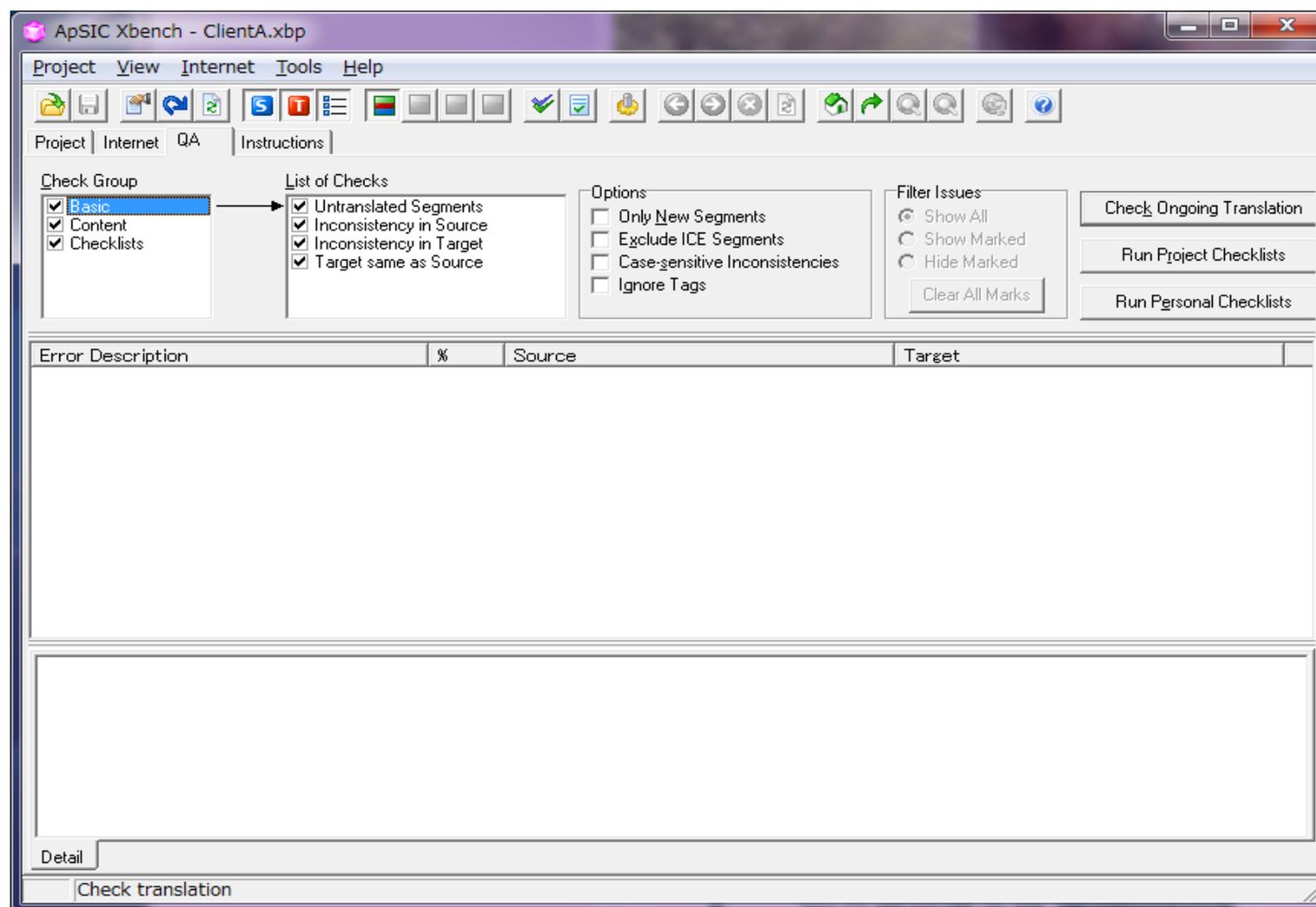
# QAチェックの実行 (3/6)



# QAチェックの実行 (4/6)



# QAチェックの実行 (5/6)



# QAチェックの実行 (6/6)

The screenshot displays the ApSIC Xbench software interface for ClientA.xbp. The 'QA' tab is active, showing a 'List of Checks' with 'Project Checklist' selected. The 'Options' section includes checkboxes for 'Only New Segments', 'Exclude ICE Segments', 'Case-sensitive Inconsistencies', and 'Ignore Tags'. The 'Filter Issues' section has radio buttons for 'Show All', 'Show Marked', and 'Hide Marked', along with a 'Clear All Marks' button. The main area shows a table of error descriptions with columns for 'Error Description', '%', 'Source', and 'Target'. The table lists various issues such as 'QA Options in non-default state', 'Untranslated Segment', 'Inconsistency in Target', and 'KeyTerm Mismatch'. A 'Detail' button is visible at the bottom left.

Error Description	%	Source	Target
<b>QA Options in non-default state</b>			
Basic -> Target same as Source		default: DISABLED	now: ENABLED
<b>Untranslated Segment</b>			
InstallApp.docx.sdxliff (8)	95%	https://appexchange.salesforce.com/listi...	*** Untranslated ***
<b>Inconsistency in Target</b>			
InstallApp.docx.sdxliff (29)	100%	Click?Next.	[Next]をクリックします。
InstallApp.docx.sdxliff (26)	99%	Click?Next.	[次へ]をクリックします。
<b>KeyTerm Mismatch (convert / コ...</b>			
CountryPicklist.docx.sdxliff (2)	0%	Follow these instructions to convert cou...	[国]フィールドを、すべての国が一覧になっ...
<b>KeyTerm Mismatch (Field / フィー...</b>			
CountryPicklist.docx.sdxliff (13)	0%	With the?Country?field selected change t...	[国]フィールドが選択された状態で、[フィ...

# その他の機能

## ApSIC Xbench Plugin for SDL Trados Studio 2014/2015

- Xbench 3.xでのみ使用可能
  - ApSIC Xbench 3.0 build 1186以降
  - SDL Trados Studio 2014 SP1以降
- Trados StudioのAPIで連携
- Trados StudioからQA用のXbenchプロジェクトを自動作成？
- XbenchのQA結果からクリックでsdlxliffファイルを開ける？

※いずれも手動でできるので、頻繁に使うのであればバージョン2.9で十分かも

# こんなときに便利

## 参照しなければならないデータがばらばらで探しづらい

- 翻訳メモリ、Termbase、Excelファイル、etc.
- 対訳形式になっていなくても、テキスト形式ならソース検索には使える

## 用語集が複数あり、案件ごとに優先順位が変わることがある

- PriorityとOrderで検索結果の表示順を調整する

## UI文字列が用語集として支給され、頻繁に参照する必要がある

- 自動置換（Ctrl+Alt+Num\*）が便利

## 既存訳に合わせる必要があるが、翻訳メモリの訳語検索やコンコーダンス検索ではうまく探せない

- QAチェックで訳文の揺れを見つけられるかも

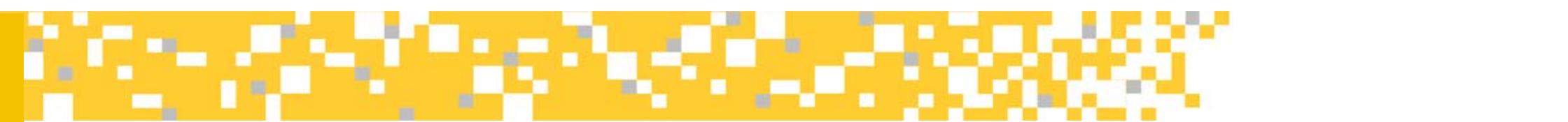
# それで、どう使っているの？

## クライアント別にプロジェクトフォルダーを用意する

- 支給された参照データをすべてまとめておく
- プロジェクト (.xbp) も同じフォルダーに保存しておき、ダブルクリックすれば簡単に読み込める
- 安心して適用できる用語集ファイルや、QAチェックで確認したい用語集ファイルは、"Key Terms" にチェックを付ける
  - ⇒QAチェックでfalse positiveが多いようならチェックを外す
- QAチェック対象ファイルは案件ごとにその都度読み込み、"Ongoing Translation" にチェックを付ける

# プロジェクト作成のコツ

- 翻訳メモリ形式やサイズが大きいファイルは読み込みに時間がかかる。エラーになることもある。  
⇒困ったときはとにかくタブ区切りテキスト形式 (.txt) にする
- 大きいファイルは "Do not reload with F5" にチェックを付ける
- フォルダーではなく個別ファイルとして読み込むほうがPriorityとOrderを必要に応じて変更できる
- QAチェック対象ファイルは、PriorityやOrderを個別に指定する必要がないので、フォルダーごと読み込むほうがごちゃごちゃしない



皆さんは、どう使っている？  
どう使えそう？

# 参考情報

## (株)シーブレイン「つぼログ」

2012/02/09 ApSIC Xbench (1)

<http://cb-l10n.blogspot.jp/2012/02/apsic-xbench-1.html>

2012/02/28 ApSIC Xbench (2)

<http://cb-l10n.blogspot.jp/2012/02/by-wata-apsic-xbench-2-wata-xbench-grep.html>

2012/04/26 ApSIC Xbench (3)

<http://cb-l10n.blogspot.jp/2012/04/apsic-xbench-3.html>

2013/01/17 ApSIC Xbench (4)

<http://cb-l10n.blogspot.jp/2013/01/apsic-xbench-4.html>

2014/12/05 Xbench 3.0 のご紹介 (Trados Studio 2014 用プラグインを中心に)

<http://cb-l10n.blogspot.jp/2014/12/xbench-30-trados-studio-2014.html>

2015/05/25 ApSIC Xbench の QA 機能を使ってみよう

<http://cb-l10n.blogspot.jp/2015/05/apsic-xbench-qa.html>

2015/06/01 ApSIC Xbench の QA 機能を使ってみよう (2)

<http://cb-l10n.blogspot.jp/2015/06/apsic-xbench-qa-2.html>

2015/06/11 Xbenchの便利な機能 : PowerSearch

<http://cb-l10n.blogspot.jp/2015/06/xbenchpowersearch.html>